

令和の時代もはじける笑顔！

6/2

地区住民大運動会

今年も各地区で住民大運動会が行われました。照りつける太陽にも負けぬ熱気あふれる力走に、陣地からも大きな声援が送られました。

蕨 岡



遊 佐



稲 川



大会結果

-Result-

蕨 岡

優勝 大蕨岡
準優勝 上小松
第3位 上大内

遊 佐

優勝 境田
準優勝 野沢下
第3位 上吉出

稲 川

優勝 北宮田
準優勝 田地下
第3位 大井

西遊佐

優勝 服部興野
準優勝 茂り松
第3位 上藤崎一区

高 瀬

優勝 富岡・畑
準優勝 升川
第3位 南山・松山

吹 浦

優勝 宿町二
準優勝 宿町一
第3位 滝ノ浦・
鳥崎・湯ノ田

西遊佐



高 瀬

吹 浦



「庄内・遊佐太陽光発電基金」(仮称)創設にむけた 共同宣言に基づく協定締結について

5月30日(木)に、(株)庄内自然エネルギー発電が遊佐町吉出で稼働している「庄内・遊佐太陽光発電所」の売電利益を、庄内地域の持続可能な地域社会づくりに活用するとの理念に基づき、遊佐町、酒田市、生活協同組合庄内親生活会、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、株式会社庄内自然エネルギー発電の5者による共同宣言および協定締結が行われました。



吉出の「庄内・遊佐太陽光発電所」

町と生活クラブ生協および庄内みどり農協の3者は、40年におよぶ長い提携と交流の歴史の上に立ち「地域農業と日本の食料を守り、持続可能な社会と地域を発展させる共同宣

言」を締結、宣言内容を具現化する各種取組みを展開してきており、今回の本発電事業も共同宣言における再生可能エネルギー創出推進事業の一端を担うと同時に、庄内エリアにおける「食(Food)」「エネルギー(Energy)」「福祉(Care)」の自給圏をつくるという庄内FEC自給ネットワーク構想の一環でもあります。



関係5者による共同宣言および協定締結が行われました。

今後は、発電に伴う剰余金の一部を、酒田市に設置する「庄内・遊佐太陽光発電基金(仮称)」に寄付され、基金の活用方法は協定を締結した5者で設立する協議会にて決定してまいります。

庄内海岸クロマツ林の松くい虫被害対策事業に係る 国・県の支援についての要望書を提出しました

6月5日(木)に、砂丘地砂防林環境整備推進協議会と西遊佐まちづくりの会の連名で、「庄内海岸クロマツ林の松くい虫被害対策事業に係る国・県の支援について」の要望書を山形県知事と農林水産部長に提出しました。



吉村県知事へ要望書を手渡しました。

砂丘地砂防林環境整備推進協議会は平成9年に結成し、会員による植林や枝払い、薬剤を樹幹注入する松の保全活動に加え、国、県、町や小学生に、クロマツの重要性を伝える活動を行っております。また、西遊佐地区まちづくりの会は、同協議会と連携し、西山地区のクロマツ林の保全活動やそれに係る伝統行事等、

地域の代表として活動を行ってきました。今回は、昨今蔓延している松くい虫被害を縮小するため、防除に係る国と県の支援および町に対する予算の確保と、今年度供給予定の松くい虫に強いクロマツの抵抗苗の早期普及に関すること、松くい虫被害によって減少した松林の再生についての要望を行いました。



農林水産部長へ要望書を手渡しました。

吉村県知事は、「今後も皆様と一緒にクロマツ林の保全に努めてまいりますので、引き続き、御理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます」と、被害に対して前向きな意見を述べました。

●問／産業課水産林業係

☎ 72-4521

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

【第55回】 鳥海山の残雪風景は 日本一！



秋田大学大学院
教育学研究科 教授
林 信太郎 氏

長い冬が去り、新緑がまぶしい季節になりました。この時期の鳥海山の残雪風景はすばらしいものです。残雪が筋状にのこり、雪と黒い山肌とがうねうねとした縞になって見えてきます。

鳥海山は溶岩だらけで、お菓子の「モンブラン」に似ているというお話を前回しました。頭の中にモンブランを思い浮かべてください。ここに粉砂糖をふるってみましょう。粉砂糖でモンブランのマロンペーストが隠れますね。この粉砂糖をちよつと吹いてみてください。粉砂糖が残ると思います。

鳥海山は表面が溶岩で凸凹していて、モンブランそっくりです。

冬になると強風のために、溶岩と溶岩の間の谷に、吹き溜まりができます。先ほどの実験で粉砂糖を「フツ」と吹いたのと同じです。雪は春になると解けだします。残雪はなかなか解けません。このようにして溶岩のところが黒く、残雪が白いというたいへんおもしろい残雪模様が見えているのです。



残雪の鳥海山をぜひ一度ご覧ください。

鳥海山の残雪風景は日本一！ぜひ、この光景を改めて味わっていただければと思います。

古代の息づかいを現代へ

「遊佐町の文化財紹介」

遊佐町の文化財 その55

鳥海山領境争い 絵図並びに裁決文

（遊佐町指定文化財…
鳥海山大物忌神社所蔵）

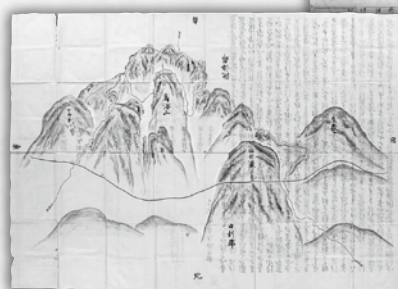
霊峰鳥海山への登拝口として、山形県側では蔵岡と吹浦、秋田県側では小滝、院内、滝沢、矢島などがありました。江戸時代、お山参りは隆盛を極め、山上の祭祀権をめぐつて、これら修験衆徒たちは、自己の正当性を主張し合い、衝突を繰り返してきた歴史があります。順峰蔵岡学頭龍頭寺らと逆峰矢島学頭福王寺らの宗門上の争論は、庄内藩と矢島藩の領境に関する中央での法廷闘争にまで発展してしまいます。

元禄十六年（1703）十二月、由利郡矢島の百姓が蔵岡の龍頭寺らを相手に鳥海山上の峰の境界について幕府寺社奉行に訴え、寺社奉行は宗教上の問題ではなく、土地の境界争いに関するものとして、これを評定所へまわします。

評定所は、関係者を江戸に呼び出し、尋問をしたり、検使を派遣、鳥海山での実地調査をするなどし、宝永元年（1704）に判決が下され

ました。庄内藩側の勝訴でした。このときの由利郡と飽海郡との境は、現在の秋田県と山形県の県境に引き継がれています。

▼鳥海山領境争い絵図
並びに裁決文（絵図の面）



▲鳥海山領境争い絵図
並びに裁決文（決裁の面）

この裁決の写しといわれる絵図（縦178cm×横255cm）の実物大レプリカを杉沢の語りべの館で展示します。

7月12日（金）15時～17時
7月13日（土）14日（日）10時～17時
7月15日（月・祝）10時～12時

● 関／教育課文化係 ☎ 72-5892

遊佐の小正月行事（アマハゲ） ユネスコ無形文化遺産認定書が届きました

5月27日(月)、文化庁でユネスコ無形文化遺産「来訪神・仮面・仮装の神々」認定書伝達式が行われました。「来訪神・仮面・仮装の神々」を構成する10行事の保護団体と、その行事の所在する自治体の首長らが出席し、多くの報道陣も詰め掛けました。遊佐町からは、遊佐のアマハゲ保存会の会長である時田町長が出席し、宮田亮平文化庁長官より認定書が伝達されました。



ユネスコ無形文化遺産認定書伝達式が行われました。



女鹿、滝ノ浦、鳥崎の三集落に認定書が手渡されました。

また、同月31日(金)には、遊佐のアマハゲ保存会総会が開催されました。引き続き会長に選任された時田町長から、女鹿、滝ノ浦および鳥崎アマハゲ保存会の会長に認定書が伝達され、ユネスコ無形文化遺産となった「遊佐の小正月行事」の保存伝承に努めることを確認しました。現在、遊佐町防災センターの2階教育委員会執務室前で、認定書のレプリカを展示しています。どうぞご覧ください。

● 町教育課文化係

☎ 72-5892

叙勲受章おめでとうございます …佐藤 仁さん(野沢)

5月21日(火)に春の叙勲が発表され、佐藤 仁さん(野沢)が瑞宝双光章を受章しました。佐藤さんは昭和49年から44年間の永きにわたり遊佐町消防団として活躍され、平成26年4月からは団長に就任。町民の安全と福祉のため、災害に際しては率先して第一線に立ち、また火災予防や消防水利の拡充、消防団員の育成など多大な貢献をされました。



叙勲を受けた佐藤 仁さん

全国大会へ挑戦！ …村上 心優さん(京田新田)

5月6日(月・祝)に天童スポーツセンターで行われた第19回全日本少年少女空手道選手権大会山形県予選会の小学2年女子組手にて、村上心優さんが優勝し、全国大会出場を決めました。心優さんは「優勝めざしてがんばってきます」と全国大会への意気込みを語りました。全国大会は、8月3日(土)4日(日)に東京武道館で行われる予定です。



全国大会でもがんばってください！

フォト トピックス

Photo
Topics



災害から町を守る



5月25日(土)、遊佐中学校グラウンドで春季消防大演習が行われました。晴天の下、見事な消防操法やはしご乗り演技など、災害から町を守るための訓練の成果を披露しました。

力強く駆け上がれ！



6月8日(土)、第38回鳥海ブルーライン登山マラソン大会が開催されました。太平山荘の電気設備のトラブルもあり、10kmのみとなりましたが無事開催。185名のランナーたちが一斉にスタートし、過酷な坂に挑みました。

お魚おいしく食べられるかな？



6月13日(日)、西浜キャンプ場で遊佐小学校5年生の食育体験学習が行われました。庄内浜文化伝道師の指導の下、カレイやメバル、マダイやウマヅラなどのお魚たちを調理しました。魚の捌き方はちゃんと覚えたかな？



表彰された阿部満さん(左)と、わらびっこ見守り隊上大内行動隊代表の石垣孝恭さん(右)

5月24日(金)に開催された庄内地方交通安全対策協議会において、阿部満さん(谷地)と、わらびっこ見守り隊上大内行動隊が交通安全功労者として表彰されました。高瀬地区青色パトロール隊の隊長として活躍されている阿部さん、わらびっこ見守り隊とともに、地域児童の通学の安全確保をはじめ、交通安全教室などを通し安心安全の地域づくりに尽力されました。また、日ごろの活動を通して地域内のつながりが強まり、交通安全だけでなく防犯対策にもつながる点も評価されました。

交通安全功労者
阿部満さん(谷地)と、わらびっこ見守り隊上大内行動隊が表彰



親善大使に任命された天地間さん(左)と絵本の絵を担当する鈴木未空(中央)さん

この度天地間さん(本名・前田直己さん)が「鳥海2236」ゆざ親善大使に任命され、31日に任命式が行われました。天地間さんは以前、鳥海山に棲んでいたとされる妖怪「手長足長」の絵本を鈴木未空さんと一緒に作り、好評を博しています。現在は「遊佐の小正月行事」アマハゲのユネスコ認定を受け、鈴木さんと共にアマハゲの絵本の制作に取り組んでいます。絵本は年内の完成をめざして鋭意制作中とのこと。完成が楽しみです！

天地間さんが「鳥海2236」ゆざ親善大使に
：アマハゲを絵本で情報発信

まちかど ホット ライン



読者の広場

町の行政相談委員 菅原三康さん(野沢)へ感謝状

5月29日(水)、町の行政相談委員を務める菅原三康さんが総務省より感謝状が贈られました。行政相談委員は、町民の皆さんからの行政の仕組みや手続きに関する問い合わせ、行政サービスに対する苦



町の行政相談委員を務める菅原三康さん

情などの相談を受け付け、その解決のための助言などを行っています。菅原さんは行政相談の実績に加え、行政相談の懇談会の開催や相談事例のパネル展など、広報活動にも積極的に取り組み、委員活動に尽力してきました。

町では毎月原則第3水曜日に行行政相談日を設け、相談を受け付けています。

女性消防団も活躍しています

現在部長、班長含め11名の女性消防団員がおります。各自仕事をもちながら、春・秋の防火週間時の防火啓蒙活動等の活動を行い、地域・町内の減災活動に努めています。先日の消防大演習では、式の進行を務め、分列行進にも参加しました。秋には全国女性消防団活性化大会への参加も決まるなど、1年を通して精力的に活動し



女性消防団員の入団、お待ちしております！

ています。女性消防団員の入団は常時、受け付けております。

ほくたちもクロマツ林を守る！ 緑の少年団結成

5月31日(金)、藤崎小学校で令和元年度遊佐町緑の少年団入団式が行われました。緑の少年団とは、森林での学習活動などを通じて子どもたちを心豊かな人間に育てて行くことを目的とした団体です。今年度は以前から入団していた5・6年生に加え、新たに4年生19名が入団し、総勢は64名となりました。



新たな仲間たちも加わりました！

5月23日(木)には、入団式に先駆けてクロマツ林の枝打ち体験学習が行われました。砂丘地砂防林環境整備推進協議会の皆さんから枝打ちの仕方を教わりながら、藤崎のクロマツ林を一生懸命手入れしました。



枝打ちはけっこう楽しい！

歌と踊りと民謡のステージ あほん西浜さなぶり歌謡ショー

5月26日(日)、あほん西浜の大広間でさなぶり歌謡ショーが開催されました。ステージで歌や踊りを披露するのはボランティアサークルさななみ会の皆さん。この日は大広間も解放され、利用客の皆さんは温泉で体を温めた後、歌声と踊りのステージを堪能しました。



さななみ会による歌謡ステージに利用者も思わず笑顔



Yuza Town Hotline



佐藤 結佳さん(中藤崎)

Yuka Sato
平成9年生まれ

あこがれの園長先生をめざして

■一言／

私が園児の頃の園長先生が優しい人で、自分もそういう人になりたいと思い保育教諭をめざしました。杉の子幼稚園には短大の実習の頃からお世話になっており、今年で2年目。今はひよこ組(0～1歳児)の副担任をしています。0歳児・1歳児はまだうまく話せないので気持ちをくみ取るのが大変ですが、いっぱい触れ合ったりすることで信頼関係が生まれ、慕ってもらえることが嬉しいです。

プライベートでは、旅行にたくさん行きたいと思っています。好きなアーティストのライブがある時は、休日をうまく調整してできるだけ行くようにしています。

■町への要望／

コーヒーがすごく好きなので、おしゃれなカフェや、ゆっくり食事ができるようなお店があったらいいなと思います。



羽釜で炊いたおむすびはどんな味かな？

**遊佐の恵みを味わおう！
おむすびつくるワークショップ**
遊佐の美味しいお米でおむすびを作るワークショップ「おむすびつくる」が、5月26日(日)らしい自然館で開催されました。講師におむすび研究家／おむすびまるさんかくオーナーの大倉千枝子氏を招き、おむすびについてまずはお勉強

6月9日(日)、遊佐町商工会青年部は「絆」感謝運動として十里塚海水浴場の海岸清掃を実施しました。
「絆」感謝運動とは、毎年6月に全国約1,700の商工会青年部が一斉に地域貢献活動を実施す

商工会青年部「絆」感謝運動 十里塚海水浴場海岸清掃

強。遊佐はお米はもちろんのこと、鳥海山の豊かな湧水、そしてその湧水が流れ込む海から作られる塩と、おむすびを作る大切な要素に恵まれています。この日は2升炊きの羽釜で炊いたササニシキを使い、おむすび本来の味を楽しめる塩むすび作りに取り組みました。

ることにより、地域の絆への感謝の気持ちを表す事業です。今回の海岸清掃は、酒田飽海建設総合組合遊佐連合支部青年部と合同で実施し、青年部員とその家族を含めた11名が参加。海岸清掃を通して地域と仲間、そして家族との絆と感謝の気持ちを再確認しました。



町内の空き家調査にお邪魔します。

利活用できる空き家募集中！

今年も遊佐町空き家実態把握調査が始まりました。「新たに空き家になった家」、「利活用できる空き家」、「危険空き家」を重点的に調査しています。集落支援員と企画課定住促進係、総務課危機管理係が実際に町内の空き家を見て回りますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、町が空き家を借り上げてリフォームした後、移住者に貸し出す「リフォーム空き家」を今年度は2棟整備予定で、現在候補となる空き家を募集中です。詳細とお問い合わせは企画課定住促進係(☎28-8257)まで。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所：Aコープゆざ店2階)

集落支援員だより